



2/25 JICA沖縄との連携覚書署名式

浦添市の国際協力の拠点であるJICA沖縄と、多分野に渡る連携を図ることを目的に2023年に締結した「浦添市とJICA沖縄との連携覚書」を更新しました。

連携1期目には、開発途上地域からの技術研修員の受け入れや市内小中学校での国際理解教育などを実施し、国際社会への関心を高めることができました。

JICA沖縄の田中香織所長は「昨年には浦添にセンターを構えて40周年を迎えました。締結から3年の実績を土台に市のさらなる発展に貢献したい」と述べ、松本市長は「国際協力の一助となるよう、さらに強固な絆で連携を深めていきたい」と話し、より一層の連携分野の拡大を図り、課題解決に共に取り組むことを確認しました。



2/28 性の多様性講話で学ぶ性の在り方

浦添市ハーモニーセンターで「浦添市性の多様性講話・ありのままのあなたで大丈夫!」が開催され、20代～60代までの幅広い世代、合わせて28人が受講しました。講師に、当事者で現役小学校教諭の宮城里沙先生をお迎えし、LGBTQ+の基礎知識や講師の幼少期・思春期からカミングアウトまでの葛藤や心の在り方、講師家族(同性ふう)が抱える社会困難等の講話が行われました。受講者からは「子どもと接する仕事をしているので、とても心に響き訳がわからず涙が出た」「話を聞き、心が軽くなった」「初めて参加した。もっと多くの人にこの講話を聞いてほしい」等の感想がありました。質疑応答では次々と質問が飛び出し、大盛況の講座となりました。



2/7 アートキャラバン黒板アート教室実施!

中央公民館講座の「アートキャラバン出前講座 黒板アート教室」を実施しました。このキャラバンは、高校生が自らの発想と感性で市や公民館のイメージをデザインすることで、地域に関心を持ち、地域貢献・まちづくりに寄与する意識を醸成するとともに、公民館活動の活性化を図ることを目的として令和4年度から始まったものです。

今年は、県立浦添商業高等学校美術部と美術好きの1年生が制作にあたり、素晴らしい作品に仕上がりました!制作した高校生はぜひ多くの市民に見てほしいと話していました。4月1日からは、あかひらステーションビル1階の公民館に展示しています。



2/14 令和7年度浦添市教育委員会表彰式

2月の第2土曜日の「浦添市教育の日」に、AIM・ユニバースでだこホールで令和7年度浦添市教育委員会表彰式が開催されました。

学校生活で他の模範となり、スポーツや文化活動で優秀な成績を収めた児童・生徒や本市の教育、文化、学術の振興発展に貢献した個人・団体、475人に賞状が贈られ、会場は受賞者の家族や関係者で賑わいました。

受賞者代表あいさつでは、善行功労賞を受賞した仲村壮太さん(浦城小6年)が児童会活動の中での自身の取り組みや経験について話し、「努力とは目標達成のために心と体を尽くしていることと思う。今回の表彰はそうした努力を認めていただいたと感じる」と述べました。



2/13 1日警察署長&特殊詐欺被害を啓発

てだこ大使の心侑妃さんが浦添警察署の1日警察署長に任命されました。沖縄県では刑法犯認知件数が令和4年から4年連続で増加し、さらに令和7年中の特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害は過去最悪ということで、警察署内での服装点検を行った後、金融機関で特殊詐欺被害防止等の啓発活動を行いました。

年金支給日のこの日は多くの人々が来店しており、詐欺被害注意喚起のチラシ配布や街頭での周知啓発を行いました。心侑妃さんは「1日警察署長という貴重な経験を通し、警察官の皆さまの迫力ある活動に圧倒されました。詐欺被害防止の大切さを改めて実感し、今後も周囲に広めていきたい」と話しました。



2/4 民具体験で学ぶ昔の暮らしと生業

浦添市歴史にふれる館で、仲西小学校3年生98人が民具の使い方を学ぶ体験学習に参加しました。文化財課職員と歴史ガイドの解説のもと、児童たちは実際に民具に触れたり動かしたりして、昔の暮らしを学びました。展示室では、ミシンや脱穀機、羽釜やアイロンなど時代ごとに変化した道具について解説が行われました。民具体験では、洗濯板で手ぬぐいを洗ったり、担ぎ棒やバーギで物を運んだり、石臼で大豆をひく作業やサーターグルマでサトウキビを絞って、当時の人の生活を体験しました。

体験した児童からは「昔の人の暮らしは大変そうだった」や「いろんな道具を使って楽しかった」などの声があり、楽しみながら当時の工夫や生活を学んでいました。

話題がいっぱい
なかゆくい
"Let's take a short break"

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで「なかゆくい」しませんか。

なかゆくい「このまちを1日体験しよう!」

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています



1/28 第66号・67号輝くてだこ市民賞

スポーツ・文化その他の分野で活躍し、顕著な成績を収めた方々に贈る輝くてだこ市民賞が吉田にこさん(神森小6)、吉田もこさん(神森小1)に贈られました。

姉のにこさんはカラテドリームフェスティバル2025全国大会(組手小学6年生女子軽量級)で優勝の成績を収め、妹のもこさんはカラテドリームフェスティバル2024国際大会(幼年女子型)で優勝の成績を収めました。

受賞についてにこさんは「5年生の時に果たせなかった優勝ができて良かった」、もこさんは「次は(組手と形)どっちも優勝したい」と少し緊張した面持ちで話しました。松本市長は「次の目標に向けてこれからも練習に励んでください」とお祝いの言葉を送りました。